

研究機関名	広島大学				
プログラム名	考古学のなかの科学～同位体分析を学び、歴史・文化を読み解こう～				
先生(代表者)	石丸恵利子(いしまるえりこ)・広島大学総合博物館・研究員				
自己紹介	私たちの暮らしや食環境、自然との関わりの継承・創造には、過去の歴史や文化を知ることが大切です。これらの興味から、動物考古学や同位体分析を用いた歴史の解明に取り組んでいます。研究はとても奥深く、魅力的です。休日には、旅行やドライブ、音楽など、色々なものを楽しみ、挑戦しています。				
開催日・募集対象	2023年 9月 16日(土)	受講対象者	小学5・6年生 中学生・高校生	募集人数	24名
集合場所・時間	広島大学(東広島キャンパス)	(集合時間)	9:00～9:30		
開催会場	広島大学教育学部L棟 202 講義室 住所: 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 アクセスマップ URL: https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima				
内 容					
<p>なぜ歴史を学ぶことは大切なのでしょう。考古学は歴史学の一分野ですが、地球化学や動物学などの科学の力で過去の歴史や文化を明らかにすることができます。本プログラムでは、「同位体分析」に注目します。本物の骨や文化財を見て、触って、じっくり観察することや、同位体分析の前処理体験を通して、過去の人の移動や暮らし、動物とのかかわりを明らかにする歴史研究の意義、これからの自然との共生について考えます。また、同位体について学ぶことにより、私たちの暮らしの中にある科学との関わりについて興味付けをおこない、歴史学の中にある科学の魅力と可能性を考えます。</p> <p>講義では、私が同位体分析を行う契機となった動物遺存体研究の基礎と現状、同位体の原理、同位体分析によって明らかとなっているさまざまな研究事例について、図譜や模型を用いながら紹介します。</p> <p>実習では、実際に研究で行われる動物骨の観察を行い、種ごとの骨の形態の違いや種・部位の特徴を学習し、模型を使用して同位体の原理を学びます。また同位体分析の前処理の一部(試料採取や秤量など)も体験します。キャンパスには複数の遺跡があります。実際に遺跡を歩き、研究の目的や同位体分析に必要な対象資料、当時の景観や暮らしぶりを現地で体験します。さらに、同位体分析の対象となる土器の観察と、粘土と土器の性質の違い(化学変化)や文化財の取り扱いを学びます。</p> <p>日頃触ることのできない文化財や骨格標本の観察、また同位体分析の前処理作業を是非体験してみてください。一緒に、歴史学の中の科学の魅力を感じ、楽しい時間を過ごしましょう。</p>					
					

持ち物	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・筆記用具 ・タオル類 ・帽子や日傘など(屋外を歩きます) ・カメラやお好きな飲み物を持参していただいても結構です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼食とクッキータイムの軽食や飲みものはこちらで用意します。食物アレルギーのある方は事前にお知らせください。対応ができない場合は、各自ご持参をお願いします。 ・実習では簡易白衣を配布しますが、作業がしやすく動きやすい服装で参加してください。 ・遺跡見学で屋外を歩きます。歩きやすい靴で参加してください。 ・豪雨や台風などの天候不良による公共交通機関の乱れ、また新型コロナウイルス感染症などにより健康や安全の確保が困難と予想される場合、中止や日程の変更をします。その際は、開催日前日までにご連絡します。 ・開催の可否は、広島県および広島大学主催イベント等開催の対応方針に従って決定します。
スケジュール	
<p>9:00 ~ 9:30 受付</p> <p>9:30 ~ 10:00 開講式 (挨拶、自己紹介、オリエンテーション、科研費の説明)</p> <p>10:00 ~ 10:20 講義 「動物考古学と同位体の原理」 * 質疑応答含む</p> <p>10:20 ~ 11:30 実習 「動物骨の観察と同位体を模型で理解する」 * 質疑応答含む</p> <p>11:30 ~ 11:40 休憩</p> <p>11:40 ~ 12:00 講義 「同位体考古学 - 同位体比から読み解く暮らしと食環境」</p> <p>12:00 ~ 13:00 昼食、休憩</p> <p>13:00 ~ 13:40 実習 「遺跡を歩き、分析の目的と対象資料を理解する」</p> <p>13:40 ~ 15:00 実習 「同位体分析の試料処理に挑戦する」 * 途中休憩あり</p> <p>15:00 ~ 15:30 クッキータイム・ディスカッション</p> <p>15:30 ~ 16:30 実習 「粘土から土器へ - 土器の観察と土器づくりに挑戦する」 * 途中休憩あり</p> <p>16:30 ~ 17:00 修了式 (未来博士号の授与、感想発表、アンケート記入・回収、挨拶)</p> <p>17:00 プログラム終了・解散</p>	

課題番号	23HT0134	分野	歴史・化学	キーワード	同位体考古学 歴史 土器 骨 炭素 窒素 ストロンチウム
------	----------	----	-------	-------	---------------------------------

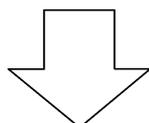
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	広島大学総合博物館・石丸恵利子
住所	広島県東広島市鏡山1-1-1
TEL番号	082-424-6198
E-mail	ishimaru@hiroshima-u.ac.jp
申込締切日	2023年9月1日(金)

当プログラムは先着順にて受付を行いますが、定員に達したのちにキャンセルができる場合があります。Web申込システム上で「満員御礼」となっているにもかかわらず、キャンセル待ち(受付順)を希望される方は、上記のお問合せE-mailアドレスにご連絡願います。

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2022年度 ~ 2026年度	基盤研究(B)(一般)	22H00739	多元素同位体分析による先史時代の資源利用と社会構成の多角的実態解明
2018年度 ~ 2021年度	挑戦的研究(萌芽)	18K18527	土器胎土のSr-Nd-Pb同位体分析による古代土器製作圏と流通圏の解明
2014年度 ~ 2018年度	基盤研究(C)(一般)	26350376	近世城下町の資源利用と文化・流通に関する動物考古学および同位体考古学的研究



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000050510286>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。